「構造改革」で広がる受診抑制

歯科医療改善に十分な予算措置を

保険でより良い歯科医療の実現③

協会政策部

中医協の医療経済実態調査によると歯科医院の収支差額は、「構造改革」が本格化する前と比べて10・4％減少と、月額にして14万3000円も下がっている。同様に国民医療費に占める歯科医療費の割合は8・5％から7・3％にまで下がった（表）。

「構造改革」によって労働の自由化が進められ、非正規雇用の占める割合は全労働者の3割を大きく上回り、賃金が低下、ワーキング・プアが広がっている。生活苦に加え、世界的に見ても高すぎる医療の窓口患者負担、保険料が払えず健康保険証さえ取り上げられるなど、医療の受診抑制が拡大している。

8月の総選挙では、国民の「構造改革」への批判の高まりによって政権交代が実現し、後期高齢者医療制度の廃止や、レセプトオンライン請求の義務化撤回で大きな前進が生まれる期待がある一方、税収の減少による財源の不足などから、民主の政権公約をただちに実現させることが難しいと

厳しくなる歯科医療の現状

	1999年	2007年	差
歯科医療費	25,444億円	24,996億円	▲448億円
国民医療費占める歯科の割合	8.5%	7.3%	▲1.2%
歯科収支差額	137.2万円	122.9万円	▲14.3万円

厚労省『国民医療費の概況』、中医協『医療経済実態調査』より作成

の見かたが出ている。

そもそも後期高齢者医療制度の廃止やレセオンラインの義務化の撤回などの民主政権公約は、国民世論や私たちの運動によって生まれたものだ。参院選を来夏に控えたいま、事態が好転するか否かは、更なる声の広がり如何だ。財源にしても麻生内閣が組んだ補正予算は15兆円規模であり、政治が何に優先的にお金を使うかの問題だ。

協会には、会員署名に、以下のような歯科医療改善を求める声が数多く寄せられている。

- 収入の減少が大きく生活が大変です。よろしくお願いいたします。（東淀川区）
- 歯科診療を継続できるように保険点数の見直しなど配慮していただきたい。（阿倍野区）
- あまりの雑務の多さに診療に対しての気力が失われてしまいます。こんなに大量の文書を書くことに何の意味があるのでしょう。それに加えてこの診療報酬の低さ。もうやっていけません。（都島区）

歯科医療の危機打開は、一刻の猶予も許されない状況である。歯科診療報酬の大幅な引き上げを実現するためには、新政権に期待を寄せた国民の声を患者署名や自治体意見書採択の大運動に高めることが必要だ。

（おわり）

アシスタント・衛生士対象講習会のご案内

◆アシスタントワーク基礎編「バキュームテクニック」

日時　12月5日(土)　午後3時～6時
会場　とみもと歯科（地下鉄中央線「朝潮橋」駅から徒歩10分）
定員　15人（先着順）
講師　歯科臨床・学術学会部講師団
会費　会員院所スタッフ5千円

◆「スケーリングシャープニングセミナー」

日時　12月20日(日)　午前9時30分～12時30分
会場　保険医会館
定員　15人（先着順）
講師　福池久恵氏（歯科臨床・学術学会部講師）
会費　会員院所DH5千円

※申込者には、開催要項と会場案内図を送付します

松井福太郎氏がご逝去

元協会役員の松井福太郎（まついふくたろう・堺市）氏が9月27日、老衰のためご逝去された。97歳。

故人は、1971年4月18日「大阪歯科保険医の会」（現協会の前身）の結成大会の座長を務め、世話人代表の玉川和隆名誉理事長らとともに協会の礎を築いた。副理事長4年、監事を通算14年、堺地区初代責任者など、保険医協会運動にご尽力いただいた。

リレーエッセイ　あの日あの頃　248

光の樹

乾　康夫（河内長野市）

もう40年近く前の記憶の中で、強く印象に残っている風景がある。

「ガラスの木」という名前がついていたその建物は、文字通り、壁から屋根まで透明ガラスで造られていて、そのガラスのキューブが葉になり、何十と重なり合って樹木のように上へ上へと、生い茂っていた。

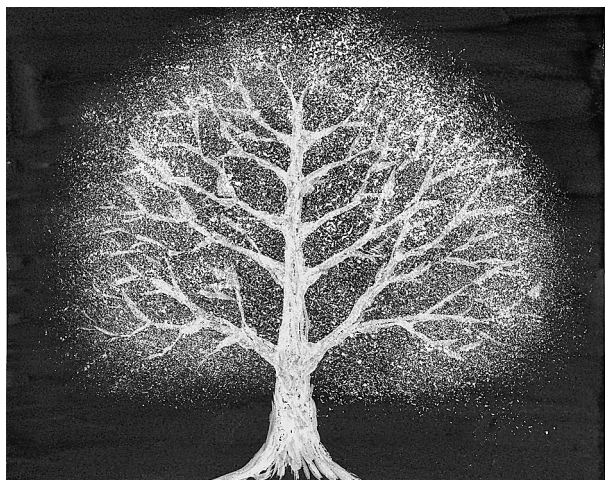
ガラスは壊れるものとしか思っていなかった私は、その建物の構造が不思議でならなかった。そのキューブの一つひとつの中に電球が入っていて、夜になると眩しいくらいの光の木になる。建物の前に池があり、その光が池に映り、すごく幻想的でこの世のものとは思えないほど、素晴らしい風景だった。

1960年生まれの私が10歳の年、1970年に大阪で万国博覧会が開かれていた。「ガラスの木」は万博パビリオンの一つ「スイス館」のシンボル塔である。

その頃、私は羽曳野市内に住んでいた。わらぶき屋根の家がまだ多く残っていて、周りは田畑が多く、隣の家では耕運用の牛が飼われていたような所である。夜、外へ出歩くことは、近くの天神さんの夜店出しを見に行く時以外、皆無だった。そんな子どもが、あの眩いばかりの光の建物を目にするのだから、タイムマシンに乗っていきなり未来の国に来たような衝撃を受けた。

建物の中にはレストランがあり、壁に時計の国らしく、掛け時計がいっぱい飾られていたのを記憶している。当然、外国人を見るのも初めてだった私は、お洒落な服を着たスイス人スタッフのお姉さんにサインと握手をしてもらい、必死で会話しようとしていた事も楽しい思い出として残っている。

今でも、水面に映る光の影を見ると、その当時の風景と重なり、見とれてしまうのだが、あの時の感動以上のものには出合っていない。



絵　藤田　進（河内長野市）

乾先生どうもありがとうございました。次回、11月15日付「リレーエッセイ」は、乾先生のご紹介で、森川正章先生（八尾市）にバトンタッチされます。どうぞご期待ください。

協会行事案内

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

お申し込みは　電話　06-6568-7731　ファクス　06-6568-0564

北大阪地区講習会
「有病者・高齢者の歯科治療に際しての注意点」
日時　10月24日（土）午後7時～9時
講師　西田百代氏（関西障害者歯科臨床研究会会長、元府立身体障害者福祉センター附属病院歯科部長）
会場　吹田さんくす1番館4階第3会議室（JR「吹田」駅横）　定員　50人
会費　会員・スタッフ無料、未入会者1万円

東大阪・八尾・柏原地区講習会
オータムセミナー「次期診療報酬改定のゆくえと個別指導」
日時　10月24日（土）午後6時～8時
会場　保険医会館
講師　政策部・社保研究部講師団
会費　会員無料、未入会者1万円

記帳講座（2日間コース）
「はじめての弥生会計を使ったパソコン記帳」
日時　1日目　10月24日（土）午後2時30分～5時30分
2日目　10月25日（日）午前10時～午後1時
会場　京橋ケースメソッド・弥生カレッジCMC（JR「京橋」駅東口から徒歩3分「大発ビル」）
講師　柄溝宗生氏（協会顧問税理士団）
定員　25人
会費　会員・会員家族1万円（2日間を通じて）

大阪市西部・南部地区合同講習会
「洗練された接遇・マナー基礎編」
日時　11月8日（日）午前10時～午後1時
講師　西出知子氏（接遇マナーインストラクター）
会場　保険医会館　定員　50人
会費　会員院所スタッフ3千円
※上級編は2010年2月7日に開催します
（9月25日付の行事案内に11月1日とありましたが、11月8日の誤りです。お詫びして訂正します。）

堺・高石・和泉地区講習会
「どう変わる個別指導～09年度計画から見えるもの～」
日時　11月11日（水）午後8時～10時
会場　堺市民会館（南海高野線「堺東」駅徒歩10分）
定員　100人
講師　社保研究部講師団
会費　会員無料、未入会者1万円

11月度生涯研修
「摂食・嚥下障害の診断と治療」
日時　11月15日（日）午前10時～午後1時
会場　M&Dホール（保険医会館東隣り）　定員　100人
講師　館村卓氏（大阪大学大学院高次脳口腔機能学講座准教授）
会費　会員3千円、未入会者1万円

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です
※協会行事などを本紙で報道するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。
※M&Dホールとは、医科・歯科両協会が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの名です。